

## 第6学年 学級活動指導案

日時 平成16年12月7日(火)5校時  
児童 6年2組(男子11名 女子12名 計23名)  
授業者 釜石市立釜石小学校 教諭 杉田 哲朗

1 題材名 2学期のまとめをしよう

2 題材について

### (1) 児童観

子どもたちは、代表委員会に向けての学級会(月目標や委員会への質問等)を、毎月、定期的に行っている。これ以外にも、レクリエーション係によるスポーツ行事や、1学期の学級執行部による「ごくろうさん会」等、様々な話し合いを行ってきた。これまでの活動を通して、子どもたちは、自分の意見を述べる時の留意点を、ある程度、理解してきている。

しかし、進んで自分の意見を発表している子は、学級の半数ほどである。自分の考えを持ってはいるのだが、自分が言うよりも先に同じ意見が出ると、発言する意欲を失ってしまう。他教科の話し合いの場面でも、同様の傾向が見られる。さらには、大勢の前で発言することに、かなりの抵抗感を抱いている子もいる。

スポーツ行事や「ごくろうさん会」等の準備・実施については、提案した係や学級執行部が中心となり、しっかりとやり遂げることができた。特にも、1学期の「ごくろうさん会」では、ただゲームをして楽しむのではなく、思い出を振り返る機会を設けるといった創意工夫が見られた。楽しいイベントに限らず、「学級会で決まったことは、しっかり守らなければならない」という意識も向上してきている。

ただ、これまでの学級会テーマは、どちらかというところ、教師が提示することが多かった。今後は、より豊かな学級生活を自ら築くことができるように、課題を見つけ出す力も育てていく必要がある。

### (2) 題材観

10月末、子どもたちは、学習発表会という、小学校生活最後の大きな行事をやり終えた。それ以前にも、8月には水泳記録会、9月には陸上記録会があった。子どもたちは、それぞれの行事に全力でぶつかり、素晴らしい活躍を見せてくれた。そのような2学期を、本題材「2学期のまとめをしよう」では、必ず、振り返ることになるだろう。数々の思い出とともに、その時に味わった充実感が甦る。互いの健闘を称え合い、友達のよさを認め合う機会にもなるはずである。

また、2学期の終わりが近づくにつれて、子どもたちは、いよいよ「卒業」を意識し始めるようになってきている。3学期からは、卒業に向けて、合唱指導や呼びかけ等の取り組みが本格化する。本題材を契機にして、学級集団のまとまりをより高め、自主的、実践的な力のさらなる向上を図ることができると思われる。

### (3) 指導観

まず、望ましい集団活動のあり方に対する理解を深め、よりよい学級生活を自ら築くことができるようにするために、学級会テーマの決定の手順をしっかりと踏んでいく。教師が一方的に提示するのではなく、話し合いたいテーマを学級全員から募集し、そこから適切だと思うものを、学級執行部と教師と一緒に選定する。そして、学級執行部から選んだテーマを提示し、学級全員の総意で決定するようにしていきたい。

次に、積極的な話し合いが行われるようにするために、同じ意見であっても、それを進んで発表し、意思表示することが重要であると、学級全員にあらかじめ伝えておく。議長に対しては、なるべく全員の意見をすい上げられるように、事前に指名の仕方について指導したい。発言ができない子に対しては、ペアで話し合う機会をつくり、自信を持たせたり、意見を反映させたりできるようにしていきたい。

最後に、学級集団のまとまりを高めることができるようにするために、感想を書かせるようにする。話し合いを振り返らせさせる中で、自分のがんばりや友達のがんばり・よさに気づかせながら、相互評価につなげ、互いに認め合い、子どもたちの結びつきをさらに強めるようにしていきたい。

### 3 題材の目標

- (1)「2学期のまとめをしよう」というテーマについて、自分の意見を持ち、進んで話し合い活動に参加する中で、学級生活をより豊かなものにしていこうとする自主性を身につける。
- (2)「2学期のまとめをしよう」に関する活動を組織的に行うことにより、望ましい集団活動のあり方について理解を深める。
- (3)「2学期のまとめをしよう」に関する活動を通して、学級への所属意識を高めるとともに、友達との結びつきを、より強めることができる。

### 4 題材の主な評価規準

観 点	評 価 規 準	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"><li>学級生活の向上を目指して、テーマを進んで考えようとしている。</li><li>よりよい解決を目指して、自分から進んで話し合いに参加しようとしている。</li></ul>	カード 発表 行動観察
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"><li>活動の目標を理解し、適切なテーマを選ぶことができる。</li><li>学級生活のさらなる充実を目指して、反省を次回に生かそうと考えている。</li></ul>	発表 行動観察 作文
技能・表現	<ul style="list-style-type: none"><li>「2学期のまとめをしよう」に関する活動を、組織的に行うために必要な準備をし、それぞれの役割をしっかりと果たすことができる。</li><li>話し合う視点に対して、建設的な意見を述べることができる。</li><li>協力して、楽しいまとめの会にすることができる。</li></ul>	提示資料 発表 行動観察
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"><li>「2学期のまとめをしよう」に関する活動を、組織的に運営していくための学級執行部の役割やよりよい解決の仕方について理解している。</li></ul>	発表 行動観察

5 活動計画

	活動過程	活動内容	期日	評価規準【観点】《方法》
事前指導	テーマの収集	次回の学級会で、話し合い たいテーマを募集する。	11 / 22(月) 帰りの会	学級生活をよりよくするために、 進んでテーマを考えようとしている。  【関心・意欲・態度】 《カード》
	テーマの選定	学級執行部が、次回の学級 会テーマを選ぶ。	11 / 24(水) 放課後	選ぶ観点到留意して話し合い、最 も適切なテーマを選定することが できる。  【思考・判断】 《発表、行動観察》
	テーマの決定	学級執行部が、大テーマ「2学 期のまとめをしよう」を提示する。 おおまかな内容について、学級 全員に対し、アンケートを実施す る。	11 / 26(金) 1校時	組織的に運営していくための学 級執行部の役割や、よりよい解決の 仕方を理解している。  【知識・理解】 《発表、行動観察》
	学級会の計画立て	学級執行部が中心となり、「2学 期のまとめ」となる活動内容を検 討する。 話し合いの役割分担をする。	11 / 29(月) から 12 / 2(木) 昼休み	実際の話し合い場面を想定しな がら、進行の計画を考えている。  【思考・判断】 《発表、行動観察》
	学級会の項目報告	学級執行部が、原案及び話 し合う項目を提示する。	12 / 3(金) 帰りの会	次回の学級会の見通しを持たせ、 関心を高めることができる。  【技能・表現】 《掲示資料》
	自分の意見の確立	次回、話し合う項目につい て、自分の意見をレジュメに 書く。	12 / 6(月) 帰りの会	自分の意見をしっかり持ち、レ ジュメに明確に書くことができる。  【関心・意欲・態度】 《レジュメ》
本時	学級会	原案をもとに話し合い、「2学 期のまとめ」となる、具体的な活動 内容を決定する。 役割分担等についても話し合 う。	12 / 7(火) 5校時	話し合いの項目にしたがって、建 設的な意見を出すことができる。  【技能・表現】 《発表・行動観察》
事後指導	準備	役割分担等に従い、必要な 物を準備したり、練習をした りする。	12 / 8(水) から 12 / 15(水) 中休み	友達と協力して、計画的に準備を 進めることができる。  【技能・表現】 《行動観察》
	実践	2学期まとめの活動を実施 する。	12 / 16(木) から 12 / 21(火)	役割分担を生かし、組織的に、且 つ、楽しく活動している。  【技能・表現】 《発表、行動観察》
	反省	これまでの活動を振り返っ て、作文を書く。	12 / 22(水)	学級生活のさらなる充実を目指 して、今回の反省を振り返り、次 の機会に生かそうと考えている。  【思考・判断】 《作文》

6 本時の活動

(1) 目標

自分の考えをレジюмеに記入し、進んで話し合いに参加しようとしている。【関心・意欲・態度】  
 話し合いを通して、より望ましいのはどれか自ら考え、判断することができる。【思考・判断】  
 話し合いの項目にしたがって、建設的な意見を述べる。【技能・表現】  
 話し合いで決まった内容や自分の役割について理解することができる。【知識・理解】

(2) 展開

	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準【観点】《方法》
と ら え る  十 分	1 はじめのことば 2 歌「語り合おう」 3 テーマの確認 「2学期のまとめをしよう」 (まとめの会として何をするか) 4 話し合いのめあて 「話を聞く姿勢に気をつけよう」 「進んで意見を出そう」 5 提案理由及び具体的活動内容の発表	・自分の意見を事前にレジюмеに記入させ、意欲的に話し合いに臨めるようにする。 ・前回の学級会でがんばった点を振り返らせ、話し合いへの意欲化を図る(議長に指示しておく)。	・事前に自分の意見を記入することができるか。 【関心・意欲・態度】 《レジюме》
話 し 合 う  二 十 五 分	6 話し合い (1) 提案に対する質問をする。 (2) 提案に対する意見を出し合う。 (3) 提案した原案や意見について考え、修正、発展を図る。 (4) 決議をとる。 (5) 事前に提示しておいた項目(役割分担等)について話し合う。 (6) 決まったことを確認する。	・議長と事前に進め方の確認をしておく。特に、学級全員の意見が取り上げられるように、指名の仕方を、十分に理解させておきたい。場合によっては、ペアでの意見交換を取り入れて、自分の意見を発表できるようにする。 ・理由を述べながら、意見が言えるようにする。 ・話し合いの視点から逸れないように、随時、助言する。	・話し合いの項目にしたがって、建設的な意見を述べることができたか。 【技能・表現】 《行動観察・発表》 ・他の人の意見を、自分の考えと比べながら、望ましいのはどれかを判断しているか。 【思考・判断】 《行動観察・発表》
ま と め る  十 分	7 反省・感想(レジюме) 8 先生から ・めあてについての評価 ・学級、係、個人についての評価 ・今後の課題 9 おわりのことば	・発表を通じて、互いのよさに気づかせるようにする。 ・話し合いの内容、係の様子について称賛するとともに、次時への活動に対する課題を持たせる。	・話し合いで決まった内容や、自分の役割について理解することができたか。 【知識・理解】 《レジюме》

(3) 評価

評価規準 【観点】《方法》	具体の評価規準		手立て
	十分満足	おおむね満足	
話し合いの項目にしたがって、建設的な意見を述べることもできたか。  【技能・表現】  《行動観察・発表》	話し合いの項目にしたがって、相手の発表を聞きながら、積極的に建設的な意見を述べることができる。	話し合いの項目にしたがって、事前にレジュメに書いた自分の意見を、積極的に述べることができる。	積極的に発言できない子どもには、ペアやグループで話し合う機会をつくり、自信を持たせたり、意見を反映させたりできるようにする。